

# ルルドの丘

2020  
10月  
No.48



社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ

訪問看護あんな



▼「みことば」では聖書等の御言葉をお伝えします。 ▼「きらりん」では皆様の活動をお知らせします。

# みことば

“愛の炎”

愛は、油を注ぎ続けなければ  
消えてしまうランプのようなもの。  
手に入れたと思って油断すれば、  
愛の炎は小さくなり、  
やがて消えてしまうのです。  
いたわりや思いやりの油を、  
絶えず注ぎ続けましょう。

カトリック司祭 片柳 弘史  
「こころの深呼吸」より



## きらりん\*

### コロナ禍で工夫したリモート運動会

6月20日土曜日に、3病棟合同での運動会を行いました。今まで、地域交流ホームで児童発達支援センターの利用者・保護者・ボランティア・地域の方々と一緒に楽しんでいた運動会でしたが、今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、3密を避けるために、初めてリモート配信での運動会を実施しました。

リモート運動会は、各病棟にプロジェクターを設置し、3病棟と病棟ホールの様子を中継しました。運動会の内容は、開会の言葉・準備体操・玉入れ・フォークダンス・閉会の言葉です。準備体操では、なじみのある“ラジオ体操”で入所利用者さん一人ひとりに合ったマッサージを行いました。聞き覚えのある曲に笑顔をみせ、嬉しそうに声を出してくれる方もいて、楽しく体操することができました。

玉入れは、1グループ参加利用者5・6人で、30秒間の競技を5回戦行いました。画面に映っているそれぞれの玉入れの様子を見ながら、応援をし合えたりすることができました。全館放送では、参加利用者の様子を実況することで、現在誰が玉入れをしているのかがわかり、盛り上がるることができました。5回戦分の玉の数が多いチームが勝利とし、今回はひかりの大地が優勝しました。

フォークダンスでは、“ルージュの伝言”の曲に合わせて、ホールで代表の参加利用者さんの踊りを中継しました。2回ダンスを行い、参加利用者さんとのコミュニケーションがとれて、皆さんからもたくさんの笑顔がみられ楽しくダンスができました。また、他の病棟の参加利用者さんの姿を見て、手を振る方や名前を呼ぶ参加利用者さんもいて、楽しそうな様子がみられました。リモート配信だったため、残念ながら参加できなかつた利用者さんにもマイクの音声や歓声、応援の声、拍手などが聞こえ、雰囲気を感じてもらえたと思います。

多くの参加利用者さんからも「楽しかった」と感想の声をいただきました。感染や利用者さんの体調などにより、今後もリモート配信での行事や活動が増えていくと思われます。今回の新たな試みを、もっといいものにしていきたいと考えています。開催に向けては不安ばかりでしたが、みなさんの協力でケガや事故なく密接を避け、無事に終えることができました。支援者と入所利用者さんが一丸となったりモート運動会となりました。

療育部 生活福祉課 佐藤 寿洋



\*表紙写真は、新型コロナウイルス感染症で外出や行事も自粛されるなか、入所利用者さんが季節行事や気分転換できる活動を支援者が工夫し、開催した運動会・夏の集いの写真を掲載しました。（\*'ω'\*)

# 卷頭言

『命という素晴らしいまものは、わたしたちが初めて授かつた贈り物』

副施設長 牧山 美鶴江

日本は、現在一九五ヶ国から二八〇万人を超える外国人が生活するカラフル列島です。手にしたパンフレットの文字に目が留まりました。なるほど、カラフルとは良く表現したもののだと感心しながら、これは地球規模にも当てはまると思いました。昨今の私たちは、日本の総人口の二%を占める外国の方々と共生しています。

そして、このカラフルの中に共通してあるのが命です。この命が、差別や偏見を生み、今回の新型コロナウィルス感染症という未曾有の現象に取り囲まれ、様々な意味において脅かされています。新型コロナウィルス感染症によってひつ迫した経済で、仕事やアルバイトを失った人の困窮さを新聞やテレビで見聞きします。この様なことは、日本だけではありません。

しかし、何か負の社会現象が起こると、いつも決まって弱い立場の人があつて、真つ先に危機にさらされるのは、世の常なのでしょうか？

昨年の十一月末に、教皇フランシス

コが教皇として、三八年ぶりに訪日されました。実質三日ほどの日程でしたが、今回の訪日のテーマは、「すべてのいのちを守るため」でした。そして、教皇は、訪問の先々で命の重さを背負った言葉を発せられました。この教皇の発する命は、単なる人間の命だけを指すのではなく、私たちの住む地球そのものの命も含めています。それを、教皇は、人類がともに暮らす家である地球と表現しています。この家とは、私たちが傷つけてしまった地球と、そのことから派生する地球温暖化、それによつてもたらされる災害、紛争、そこから生まれる貧しい人や弱い人、この世界から見捨てられ去られた人々の叫びに気づき、地球環境保護を含めたものでした。教皇訪日後、程なくして中国から新型コロナウイルスが発生し、瞬く間に世界中に感染拡大してきました。カラフルに関係なく、このウイルスによって命が脅かされ、未だに完全なる終息のあかりはありません。

では、この地球、カラフル列島に住む者として私達一人ひとりは、素晴らしい生活様式に向かつて動き出していました。自粛することによって、家族との時間が取れ、家族のために料理ができるようになりました。家中がきれいになつた等々、これまで気づかなかつた家族愛等、沢山の良い点もネット上で目にしますし、聞こえます。次の世代に良いものを残すのも私たち一人ひとりの役割です。

この地球という命の中に肌の色も言葉も習慣も異なるカラフルな人類が、ともに暮らし、各々が、地球環境保全に努めることによって、自然災害が減らります。カラフル同士の、差別や偏見がなくなつた時、私たちの時代に、世界中のカラフル人類の命が輝き平和がおとずれると確信します。さあ、始めましょう。新しい生活様式にそつた環境保全の日常生活を。

今、地球上のカラフル人類は、新型コロナウイルス感染症と戦う日々で、



▼写真は、2019年11月教皇フランシスコの訪日写真です。教皇様のお言葉を思い出しましょう。

▼各部署の声です。今年度の目標は「一心」です。



## ヴォイス

### 診療支援部



#### 働くこと感謝

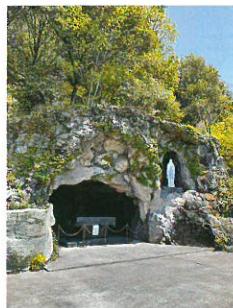
臨床検査技師 惠藤 徹信

本年四月よりここ「恵の聖母の家」の一員となりました検査課の惠藤です。この施設に来て感じたことは、広い敷地と大きな建物なのに、庭木の手入れや建物内の掃除が行き届き、きれいな花が要所要所に置かれ心を和ませてくれる施設だということです。また職員の皆さんから気軽に挨拶や声掛けをしていただき大変うれしく思いました。

四月から六月までの三か月間、検査課前任の茂田技師より仕事を引き継ぎ、入所利用者さんとの接し方（特に心電図や脳波検査時）や検査のコツなどを教えてもらいました。脳波検査がうまく記録できるか特に不安で、三ヶ月間に五名の方々の脳波検査を茂田さんと一緒にしましたが難しかったです。電極の着け方、患者さんの落ち着かせ方、記録のタイミングなど、これまでの脳波検査とは違う緊張感で冷や汗たらたらでした。障がいのある方にどのように接して良いかわからず、不随意に動く利用者さんへの脳波検査は、一人では絶対無理だと自信がない自分がいました。しかし、三人目、四人目と利用者さんと接する中で、少しずつ自分の気持ちが変わっていきました。利用者さんの緊張をほぐし、精神的、肉体的負担を少しでも減らして記録するにはどうしたらよいのかを考えいく中で、利用者さんに話しかけ、腕・肩をさすり、時には手を握ることでわずかな変化を見ることができました。

そして検査が無事終了した時には、利用者さんへ感謝の気持ちでいっぱいになりました。私が入所者の方々と接する機会に比べたら、日々看護、お世話をされている職員の皆さんのが苦労や気遣いには本当に頭が下がる思いです。

「恵の聖母の家」に来て四か月が経ちました。職員の皆さんのお名前と職種を覚え、一人でも多くの利用者さんと気軽に接することができるようになりたいと思っております。



### 訓練課



#### 初めての一人暮らし

作業療法士 首藤 あづさ

恵の聖母の家に就職して一年目になりました。

仕事にも少しずつ慣れてきて、私事ですが最近一人暮らしをはじめました。

もともと、ある程度お金が出来たら一人暮らしをしようと考えてはいました。

それに加え新型コロナウイルスの心配もあり、このタイミングで実家をしようと決め七月から一人暮らしをしています。

実際に出てみると寂しいということはない

く、自分のペースで生活できる気楽さを感じながら一人暮らしを楽しく過ごしていくのが『恵の聖母の家』とのご縁を大事にしていきたいと考えています。施設内には聖堂があり、天井が高く静寂な雰囲気の中にキリスト像やマリア像があります。大きく綺麗なステンドグラスや絵画もありここは特別な空間です。時々その聖堂に行き深呼吸をし、昼休みには外に出て「ルルドの丘」へ運動も兼ねて散歩するのが、私の心を整えてくれる時間となっています。コロナに負けず、目標は、先輩と同様七十歳までは頑張って勤めたいと思っています。皆さんこれからも宜しくお願いいたします。

じ、今まで育てくれた両親の凄さを実感しました。改めて仕事と家庭を両立している方々の凄さを実感し、両親への感謝の気持ちを実感したので、実家を出てみて良かったなどを感じます。

まだ、この生活を初めて一ヶ月なので、今後仕事を含め上手にやりくりできるよう勉強、そして経験を重ねていきたいと思います。



まずは、掃除、洗濯、料理などの家事全般のことについてです。どれも一人分と考えると案外苦ではないのですが、二人、三人、四人と人数が増えていくほどとても大変な仕事量だと感じました。一人であれば、似たような食事でも自分が食べるだけですし、掃除や洗濯の量もたかがそれています。一人分の料理をするときでも、思ったよりも時間がかかるというのに、この倍以上の量と時間を効率よく回している主婦（主夫）は凄いなと改めて実感しました。

また、経済面でも勉強になることがばかりでした。水道、電気、ガスなど生きていくためにどれだけのお金が必要なのか直に感



▼各部署の声です。今年度の目標は“[一心]”です。

# 生活 福祉課



学校を卒業して、誰かのために役に立ちたいと思っていた私は、警察官を目指して猛勉強と筋力トレーニングをする日々を送っていました。一年目は、一次試験の筆記も体力試験も落ちてしましました。

サービス付高齢者住宅・認知症対応型グループホームの複合型サービスで生活相談業務と介護業務を十三年間勤めました。今回、高齢者施設から恵の聖母の家へ転職しようと思ったのは、

その後も一次試験は合格するものの、二  
次試験で落ちることが続き、試験最終年の  
五年目も一次試験で落ちてしまいました。  
さすがにこの時はかりは、お先真っ暗で、  
これからどうしたらいいか、何も手に付か  
ないでいたのです。

これから三つの経験を積み重ねることで、「障がい児者と高齢者を繋ぐ地域福祉の仕組みを考えて行きたい。」と思つています。

市の竹工芸訓練支援センターの入学試験を受けた私は、「高齢者のために役立ちながり高齢の方から、経験を教わる仕事を楽しもう。」と思い、試験を受けて一年間学校へ通いました。学校生活は、電車で一日から別府の移動。介護の知識や技術、実

習の毎日で心身共にハードなものでした  
が、仲間と共に協力し合い充実した日々を  
送ることができました。学校を卒業すると  
同時にヘルパー一級、ガイドヘルパーの資  
格を取得することができました。

ある事業所で夢を語ってくれた魅力的な事業主さんと出会い、「ここ」がいいかな」と思い、就職を決めました。



私が恵の聖母の家を、

介護福祉士 原和宏

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルス感染症の流行によって、不要不急の外出を控え、巣ごもりを余儀なくされる時期がありました。皆さんは何をして過ごしましたか？

辛くなく、みるみる体重も減り、目標まで  
もう少しのところまできました。

そして、ウォーキングもしました。三十  
分から一時間、家の近くを歩いていると何  
いかの人と挨拶をするようになつたり、色

私は子どもが小さい頃よく作ったおやつを思い出し、作ることにしました。

んなアイデアが浮かんだり、季節を感じたり、汗をかいてスッキリしたり、巣ごもりも捨てたものじゃないなと思いました。他に、断捨離もしました。十年以上も整理していくないボックスの中や洋服ダンス、リビ

しかし、なんと一材料がない。バター、ホットケーキミックス、ベーキングパウダー、生クリーム。考えることはみんな一緒なんですね。材料を探しに出かけ、やつと見つけたて休みの日に作りました。

部整理して、家の中がスッキリして気持ちよく生活できています。今まで、「いつか使うだろう」としまい込んだ物は使わないと気づかされました。

新型コロナウイルス感染症の流行で大変な時期ではありますが、自分や自分の回りなどに目を向けるいいチャンスかも知れませんね。何か目標をもつことが大切だと感じました。

べました。すると、だんだん制服のズボンが怪しくなり、いわゆる「ロナ太りをしました。これではいけない、何とかしないと、と思つてゐる時に師長さんがある本を貸してくれました。ダイエットというより体質

看護課



巣ごもり生活で

看護師  
永野由佳



## 6月22日 ひかりの大地 ネイチャークラブ

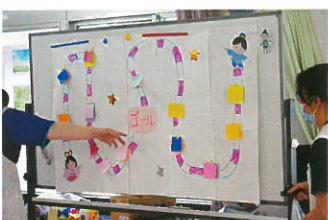
入所利用者さんと園庭で栽培している「ピーマン・ナス」を収穫しました。職員に収穫した野菜を見てもらい、販売所に置いて、来園したご家族や職員に購入して頂いています。

収益金は、来年の苗や土、肥料代に活用しています。見かけた方は、ご購入下さい、よろしくお願ひします。



## 7月7日 のぞみの丘 七夕レクリエーション

活動時間に「七夕すごろく」をしました。介護福祉士がゲームを考え「おり姫チームとひこ星チームにわかれ、ゴールで遭えるのでしょうか？」ゲームは、入所利用者さんがサイコロを揃んだり、押して転がしたり、できるように工夫し、途中でじゃんけんゲームをして楽しく交流し過ごしました。



## センターめぐみの活動紹介

### 7月(スヌーズレン)

筒に入った水が泡状となりいろんな色に変わる“バブルユニット”、光ファイバーの台座“サイドグロウ”、投影ランプのプロジェクター“プラネタリウム”、職員が手作りした“電飾やイルミネーション”さらに臭覚刺激としてアロマディフューザーで香りを高めるなど暗室の空間を有効活用してスヌーズレンを行いました。

スヌーズレンの効果にはリラックスやリフレッシュ、沢山の道具と装置や環境からの様々な感覚刺激を得ることなどがあるとされています。

今後もこのような機会を設け、Withコロナの時代である今こそ、癒しの時間を提供していきたいと思います。



## 6月18日

### 全体研修「感染予防とリスク対策について」

全職員を対象に、感染防止委員会とリスクマネジメント部会の合同研修会を行いました。

今回の全体研修は、3密を避け会議室・病棟ホール・各部署のスタッフルームで参加するリモートでの研修会を初めて開催しました。

第1部では感染防止委員の医師より、新型コロナウイルスの話があり、手指消毒や飛沫による感染を防止するためのマスクの使用など、改めて学びました。

「感染源を持ち込まない、持ち出さない、広げない。」感染予防の3原則を意識し、大事な人を守る取り組みを今後も続けていきたいと思います。

第2部では、リスクマネジメント部会長より医療安全の歴史や背景やヒヤリハットの必要性についての話がありました。ヒヤリハット件数が少ないと事故は増加する傾向にあり、ヒヤリハット報告は注意喚起、予防意識につながることを学びました。「人はミスをする。ヒヤリハットを共有し意識することで、エラーの予防に繋がり、利用者を守ることになる。」ことを再認識し、日頃の気づきや小さなヒヤリの報告にも気をつけたいと思います。

\*この研修会の内容は、当日参加していない職員は7月に2回程DVDを視聴し、全職員に内容を周知しています。



## 8月20日

### 権利擁護・虐待防止部会による「新型コロナウイルスによる偏見や差別について」の研修会をリモート形式で行いました。

部会長より、ニュースで取り上げられた「病院に勤務する看護師や家族への偏見や差別」「宅配配達員への嫌がらせ」などの事例から、なぜ偏見や差別が生まれるのか。どうすれば、防げるかを学びました。誤った情報やうわさで相手を偏見や差別するのではなく、確かな情報に基づいて、1人ひとりができる事を行い、人権に配慮した適切な行動をしていきたいと思います。

虐待防止部会では、入所利用者の面会や行事の中止や制限への配慮として、絵本「コロナウイルスってナニ?」を職員が手作りして、不安や疑問にわかりやすい絵とお話で関わる取り組みをしています。



## ひと夏の思い出

### 7月22日 あゆみの広場 夏の集い

あゆみの広場の病棟ホールで開催。『夏祭りの一夜』をコンセプトに、紅白の提灯を飾り、景気よく祭囃子を流しました。魚釣りやくじ引き、記念撮影コーナー、そして打ち上げ花火のコーナーでは、夜を演出した真っ暗な中で、リアリティのある音と映像により、入所利用者さんの不思議そうな表情や興味津々の視線など、さまざまな表情がみられました。



### 7月29日 のぞみの丘 夏の集い

入所利用者さんは浴衣や甚平、支援者もハッピ、浴衣を着て夏まつりの雰囲気を演出しました。

病棟ホールでは、迫力ある花火の映像の音や色彩に、皆さん少し興奮気味でした。各部屋では、魚釣り・輪投げ・かき氷を準備しました。かき氷では、ふわふわした氷の甘さに笑顔、冷たい氷に嫌な表情など、日頃みることのできない表情を見せてくれました。のぞみ棟の入所利用者さんと支援者が一緒に、楽しい夏のひと時を過ごすことができました。



### 8月19日 ひかりの大地 夏の集い



入所利用者さんは浴衣、甚平・アロハシャツに着がえて、祭囃子のBGMにそわそわ。かき氷や魚釣り、輪投げ、くじ引きを支援者と楽しみました。

練乳入りのかき氷が好評で、2杯、3杯とおかわりした方もいました。魚釣りや輪投げのゲームも入所利用者さん一人ひとりができる遊び方で、縁日を楽しんでいました。

最後は、みんなで「花火」の音と光を鑑賞し、暑い夏のひと時を涼みながら過ごしました。

今年は、新型コロナウィルス感染症のためご家族と一緒に参加はできませんでしたが、訓練士や支援者と楽しい時間を過ごすことができました。



### 4月より、新型コロナウィルス感染症の対策として、病棟専属の訓練士を配属しました。



理学療法士は利用者が安楽な状態で過ごせるように姿勢や呼吸の管理などを行っています。また、楽しく身体を動かしながら機能の向上や維持を図っています。



作業療法士は、感覚遊びや創作活動を通じ身体の機能維持と、ご本人の自主性を引き出せるような関わりをしています。



言語聴覚士は食事の食べ方や飲み込み方の評価・訓練、口腔ケアを中心に行っています。また、やりとりを通して思いを引き出すお手伝いをしています。



# ヴォイス



▼各部署の声です。今年度の目標は「一心」です。



5月 端午の節句御祝いランチ



6月 運動会弁当



9月 家族の日お楽しみ弁当

惠の聖母の家の栄養課に勤めて十三年目を迎えてます。  
入社当時の私は、子育てにも忙しく慣れ  
ない環境、そして何より昭和のお姑さんの  
様な先輩方に囲まれての仕事（笑）。覚え  
ることも多い中、時に辛く心が折れそうに  
なるくらいの厳しい指導の中、何度も「こ  
の栄養課でやつていけるのか!!」と不安な  
日々を過ごしてきたことを思い出します。

そんな私も今では栄養課の「最年長」と  
なりました。いま思えば当時の厳しい指導  
も今の私の中で後輩たちを育てていくため  
に得るものがあったのだろうと思います。

そして、いまの栄養課は「子育てが少し  
ひと段落した人」「子育て真っ最中の人の  
これから家族を持つ人」の十人で頑張ってい  
ます。

日々、変化していく利用者の方の食事形  
態に個人対応!!

年月を増す毎に変わりゆく私の体力と記  
憶力!!

惠の聖母の家の栄養課に勤めて十三年目  
を迎えてます。

入社当時の私は、子育てにも忙しく慣れ  
ない環境、そして何より昭和のお姑さんの  
様な先輩方に囲まれての仕事（笑）。覚え  
ることも多い中、時に辛く心が折れそうに  
なるくらいの厳しい指導の中、何度も「こ  
の栄養課でやつていけるのか!!」と不安な  
日々を過ごしてきたことを思い出します。

こんな私をいつも支えてくれて慕ってくれ  
るみんなに感謝しています。

これからも栄養課十人で利用者の方にお  
いしい食事を提供し、喜んでもらえる様に  
頑張っていきたいと思います。



## 感謝の気持ちを込めて

栄養課 安藤 淳

### 【季節・行事食紹介】



利用者還暦お祝い御前

一〇一八年四月に入職し、病棟勤務を経て二〇一九年一月より現在の部署に異動し、三年目です。最近は新型コロナウイルスなどの暗いニュースが多いので、自己紹介を兼ねて箸休め的な内容で書かせていただきます。

年齢は四十代、十歳から四歳までの子どもが四人います。今、プライベートで頑張っていることがあります。

それは「ダイエット」です。食べるこ  
とが大好き、運動嫌いなところもあって、  
元々ダイエットが必要な体型だったのです  
が、現在の部署に異動後、右肩上がりで体  
重が増え続け、身長一六九㌢に対し、体  
重が人生初の限りなく九十kgに近いところまで増えてしましました（ギリギリ八十  
kg台）。これまで着ていた服が入らなくな  
り、昨年六月頃よりダイエットを始めま  
した。

ダイエットで運動を行うのは概ね早朝、  
ウォーキングをしたり、自転車をじらしん  
けん漕いだり。以下、取り組んだことは、  
筋トレ、振動マシン、ストレッチボール、  
ユーチューブの地獄のエクササイズ、毎日  
体重計に乗る、子どもの食べ残しを食べな  
い（代わりに妻が食べ、妻が太る…）、腸  
内環境を整える（ヨーグルト食べるだけ）、  
など。「飲むだけで痩せる」をうたったも  
のの以外のことはいろいろ試してみました。  
結果、体重増加は止まつたものの、減少は  
しないという状況が一年ほど続きました。

相談支援事業所  
こころ



## ダイエット放浪記（迷走記？）

相談支援事業所「こころ」 嵐城 武志



現在は朝に小学生の子ども一人と一緒に  
に近所の公園を、お昼の休憩時間にはルル  
ドの丘（恵の聖母の家の正面の高台）を、  
それぞれ三十分ウォーキングをしてい  
ます。そして全体的に食べる量を減らし、  
夕食は炭水化物を食べない糖質制限（子ど  
もからはおかげで食べてズルいと言わ  
っていますが）に取り組んでおり、やっと成  
果ができました。

また、最近では大分県が健康推進のため  
に行っている「おおいた歩得（あると  
く）」に職員数名でグループを作り参加し  
ています。歩数などメンバーの取り組みが  
ポイントでわかるため、良い刺激となっ  
ています。一緒に頑張ってくれる方、励まし  
てくれる方がいることで楽しくダイエット  
に取り組めています。ダイエットを考えて  
いる方、一緒にどうですか？

ドの丘（恵の聖母の家の正面の高台）を、  
それぞれ三十分ウォーキングをしてい  
ます。そして全体的に食べる量を減らし、  
夕食は炭水化物を食べない糖質制限（子ど  
もからはおかげで食べてズルいと言わ  
っていますが）に取り組んでおり、やっと成  
果ができました。

現在は朝に小学生の子ども一人と一緒に  
に近所の公園を、お昼の休憩時間にはルル  
ドの丘（恵の聖母の家の正面の高台）を、  
それぞれ三十分ウォーキングをしてい  
ます。そして全体的に食べる量を減らし、  
夕食は炭水化物を食べない糖質制限（子ど  
もからはおかげで食べてズルいと言わ  
っていますが）に取り組んでおり、やっと成  
果ができました。

▼身近な方々からのメッセージです。今年度の目標は“一心”です。



ぽつかぽか

## 保護者の皆様から



### 託児所を利用して

栄養課 田中 まみ

私は2019年6月に長男を出産し、2020年6月より職場に復帰しました。それと同時に息子も恵の聖母の家の託児所に預けて、保育士の先生方にみてもらっています。預けだしたときはちょうど1歳になったばかりの甘えん坊。預ける時も、迎えに行った時も、帰り道の車の中でも号泣。布団でお昼寝することもできずに、先生におんぶしてもらったままお昼寝をする日々。ご飯もなかなか進まず、お弁当は半分食べてくれたらいいほうでした。

そんな息子も今ではすっかり託児所満喫中!!

預ける時は、バイバイ～！をしてくれるようになり、昼寝は自ら布団にコテンと寝転がり、先生のマッサージで全身撫で回してもらひながら爆睡するというなんとも贅沢な息子。お弁

当は毎日完食!!ハイハイは卒業!!あっという間に歩くようになり、たまに鼻歌を歌いながら（笑）託児所にある車がお気に入りで次から次へと乗りまわしているそうです。

初めてのプールも託児所で経験!!先生方からたくさんの愛情をかけてもらい、できる事もどんどん増えています。帰り道の車の中も今はご機嫌で、振り返るとニコニコ笑ってくれます。今日も1日楽しく過ごしたんだろうな♡というのが伝わってきて、その笑顔をみると仕事の疲れが一瞬だけ吹き飛ぶような気がします。

仕事復帰するにあたり、保育園という選択肢もありましたが、子どものペースに合わせて少人数の中でゆっくりとみてもらえて、近くにいるという安心感のある託児所が職場にあって、ありがたいと感じています。

初めての子育てで、悩む事も多いなか、気軽に相談にのってくれる先生方が、いつも私の不安を解消してくれます。連絡帳にも1日の様子、出来るようになったことなど、ノートいっぱいに書いてくれます！先生の文章がおもしろくて、託児所での様子が目に浮かび、それを読むのが仕事後の毎日の楽しみになっています。慌ただしい生活にはなりましたが、この環境に感謝しながら、仕事と育児の両立にこれから頑張っていきたいと思います。

## 職員より

### 天瀬でのボランティア活動

職員 S・M

2020年7月、大分県では7日間雨が降り続きました。そのため、日田市および玖珠町をはじめとして、多くの地域に川の氾濫や土砂災害が発生しました。建物の浸水、損壊は9市町村で300棟を超え、死者、行方不明者がいる大きな災害になりました。私は昨年、関西の知人と日田市と天ヶ瀬町を観光しました。屋形船や川沿いの温泉につかって、旅館の方のお話や景色を楽しんだだけに、三隈川、玖珠川が氾濫し、船や橋が流されるニュースはとてもショックなものでした。そういうこともあり、日田市災害ボランティアセンターが7月12日に開設されたので、7月23日に活動に行ってきました。センターが開設された旧天瀬公民館までは、臼杵ICから車で約1時間半、9時半頃にセンターに到着すると、すでに第一陣、第二陣のグループが温泉街に移動を始めました。その中に尾畠春夫さ

んの姿もみられました。

活動の手続きでは、検温、そして記入に用いたペンは他者が使わないように袋に入れるなど、感染対策も施されました。活動場所はセンターで募っており、私は民家を掃除する班に入りました。7名程のメンバーと共に、マイクロバスで移動し、川沿いの家に入りました。家には土砂が積もり、ご家族は敷地内の池と溝の掃除を希望していました。泥が結構多く、スコップで掘り起こした土をネコ（一輪車）で、向かいにある土手に運びだしました。10時過ぎに始めた作業も屋前にはほぼ片付いたので、センターの指示に従って、別荘として使っていた隣の家の片付けに入りました。ここは、多くの家具が外に出されていましたが、同じように土を土手に運び、活動時間は片付けを含めて15時まででしたが、15時前に終了となりました。活動を終えてバスに乗り、出発時にふと窓の外をみると、ご家族がバスに向かって手を合わせてお辞儀している姿が目に入り、胸が熱くなりました。秋は台風の季節もあります。これ以上、災害がありませんように。一日も早く、落ち着いた生活に戻れますよう、お祈りしております。



# ☆ ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか ☆

新しく入られたスタッフをご紹介します。①お名前 ②職種 ③お住まい ④趣味 ⑤一言

## Meguminoseibo

 <p>①渡邊 希美 (わたなべ のぞみ) さん      ②看護師 ③野津町 ④子どもと遊ぶこと      ⑤不慣れなところもありますが、頑張ります。よろしくお願いします。</p>	 <p>①恵藤 徹信 (えとう てつのぶ) さん      ②臨床検査技師 ③千歳町 ④剣道・ゴルフ      ⑤心電図や脳波検査の時に、ご加勢をお願いするかもしれません。その際は、ご協力、よろしくお願いします。</p>
 <p>①仲 悠介 (なか ゆうすけ) さん      ②看護師 ③三重町 ④読書      ⑤好きな食べ物は、シチューです。よろしくお願いします。</p>	 <p>①中津 豊子 (なかつ とよこ) さん      ②看護師 ③大野町 ④野菜・花作り      ⑤一日一日を大切に、楽しく過ごしましょう。</p>
 <p>①工藤 明穂 (くどう あきほ) さん      ②准看護師 ③三重町 ④バレーボール      ⑤一つ一つの業務をしっかり覚えて、頑張っていきたいです。よろしくお願いします。</p>	 <p>①吉田 理恵 (よしだ りえ) さん      ②社会福祉士 ③大分市 ④食べること      ⑤利用者の皆様のお役に立てるよう頑張ります！</p>
 <p>①飯塚 大輔 (いいづか だいすけ) さん      ②言語聴覚士 ③大分市 ④剣道      ⑤ご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導宜しくお願いします。</p>	 <p>①衛藤 舞 (えとう まい) さん      ②看護助手 ③大分市 ④ギターの練習      ⑤笑顔でがんばります。よろしくお願いします。</p>
 <p>①神品 康代 (こうじな やすよ) さん      ②介護福祉士 ③三重町 ④読書      ⑤介護福祉士として、頑張っていきます。よろしくお願いします。</p>	 <p>新職員のみなさんです。 よろしくお願いします。</p>



新職員のみなさんです。  
よろしくお願ひします。



おこがと「ア」ヤらました

株式会社そりん

ご寄附

新規採用	三月一日付	看護師	臨床検査技師	看護師	看護師	四月一日付	臨床検査技師	看護師	看護師	四月一日付	看護師
渡邊	恵藤	仲	中津	吉田	工藤	豊子	明穂	理惠	大輔	悠介	希美
西美	齊藤	朝倉	山部	茂田	衛藤	飯塚	吉田	工藤	吉田	吉田	西美
昌美	八月三十一日付	看護師	七月十四日付	言語聴覚士	六月三十日付	臨床検査技師	八月三十一日付	看護助手	四月七日付	准看護師	社会福祉士
八月三十一日付	看護師	七月十四日付	言語聴覚士	六月三十日付	臨床検査技師	八月三十一日付	看護助手	五月一日付	看護助手	看護師	三月一日付



権利擁護・虐待防止部  
会が新型コロナウイルス  
感染症の影響で、面会や  
行事・外出も中止や制限  
され、さみしい思いや  
いつになつたら外出や面  
会ができるか?と、不安  
な思いを感じながら日々  
を過ごしている入所利用  
者さんの思いに寄り添い、  
不安やさみしい気持ちを  
くみとつて、わかりやすく  
い絵本を作りました。

「コロナウイルスって  
ナニ?」です。できあがつ  
た絵本を居室で入所利用  
者さんに読み聞かせると  
「絵がかわいい!」「いま  
できることをがんばって、  
がまんする。」など感想を  
話してくれました。

物語は保育士が考え  
絵も職員の手書きです。  
絵本は、恵の聖母の家  
ホールの「大分ヨゼフおじ  
さんの本棚」に置いていま  
す。また、「エイスブック」  
にも掲載しています。

みなさんご覧ください。

手作り絵本の紹介

### ◆各ご連絡・ご相談先

発達外来（初診受付）…0974-32-7778	児童発達支援センターめぐみ…0974-32-7784 保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイ・生活介護
相談支援事業所こころ…0974-32-7788	訪問看護あんな・地域連携室…0974-32-7667
外来保育きっず……………0974-32-7778	恵の聖母の家（代表）……………0974-32-7770

# 行事予定

※青色…外出活動 ◎…ケースカンファレンス ◯…個別面談  
 ⑨…権利擁護・虐待防止部会 ⑩…全体朝礼 ⑪…労働安全衛生委員会  
 ⑫…リスクマネジメント部会 ⑬…入浴日

2020年9月			10月			11月			12月		
1	火	⑩誕生会	1	木	(確)	1	日		1	火	⑩誕生会
2	水		2	金	(入)	2	月	(入)	2	水	
3	木	(確)	3	土		3	火		3	木	(確)
4	金	(入)	4	日		4	水		4	金	(入)
5	土		5	月	(入)	5	木	(確)	5	土	
6	日		6	火	⑩誕生会	6	金	(入)	6	日	
7	月	(入)	7	水	外出活動	7	土		7	月	(入)
8	火	◎⑪	8	木		8	日		8	火	◎⑪
9	水		9	金	(入)	9	月	(入)	9	水	
10	木		10	土		10	火	⑩◎⑪誕生会	10	木	
11	金	(入)	11	日		11	水		11	金	(入)
12	土	家族の日ファミリー フェスティバル	12	月	(入)	12	木		12	土	クリスマスの集い
13	日		13	火	◎⑪	13	金	(入)	13	日	
14	月	(入)	14	水	外出活動	14	土		14	月	(入)
15	火	◎	15	木	(入)	15	日		15	火	◎
16	水	外出活動	16	金	(入)	16	月	(入)	16	水	
17	木	(入)	17	土		17	火	◎	17	木	もちつき (入)
18	金	(入)	18	日		18	水		18	金	(入)
19	土		19	月	(入)	19	木	(入)	19	土	
20	日		20	火	◎	20	金	(入)	20	日	
21	月	(入)	21	水		21	土		21	月	(入)
22	火		22	木		22	日		22	火	◎ (入)
23	水	外出活動	23	金	(入)	23	月		23	水	
24	木		24	土		24	火	(入)	24	木	(入)
25	金	(入)	25	日		25	水	(入)	25	金	クリスマスミサ
26	土		26	月	(入)	26	木	◎	26	土	
27	日		27	火	◎	27	金	(入)	27	日	
28	月	(入)	28	水		28	土		28	月	(入)
29	火	◎	29	木		29	日		29	火	
30	水		30	金	(入)	30	月	(入)	30	水	
			31	土					31	木	(入)

※予定変更の場合があります。 ※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。

## 編集後記

今年は新型コロナウイルス感染症により、開催予定だった行事も外出活動も中止や密集を避け、各棟での活動をおこなっています。療育部の保育士や介護福祉士が「入所利用者一人一人が参加し、楽しめるように…」思いを込めて、季節を感じられる装飾やレクリエーションを企画しています。この広報誌ルルドの丘を通して、入所利用者さんの様子を皆さんにご覧いただけたらと思います。まだまだ、暑さも新型コロナの感染予防も台風や自然災害にも気をつけて、身体を大事にして過ごしましょう。(M・H)